

授業科目名 (英語表記)	近代中国の歩みと日本 Modern China and Japan								
対象学生	全学部・全学年	開講期間	前期	授業時間	授業計画参照	単位数	2	授業形態	講義
担当教員	副島 昭一		研究室(オフィスアワー)						
<p>【授業のねらい・概要・科目の位置付け】</p> <p>近代以降中国と日本は異なった道を歩んできました。それはそれぞれ孤立したものではなく、互いに影響を与えながら、深い関係を持っていました。</p> <p>今後の日本を考えると、日中関係は非常に重要な意味を持っていますが、必ずしも相互の理解が十分とはいえない状況があります。日中関係の現在を知るには過去からの流れの中で位置づける必要があります。過去の歴史の問題も決して過ぎ去った問題ではなく、歴史の問題が現在の大きな問題になることがしばしば見られます。近代の日本の歴史の上でも中国との関係は、現在普通に考えられる以上に大きな位置を占めていました。</p> <p>この講義では19世紀半ば以降から現在までの中国の歩みと日本との関わりをできるだけ客観的に見て行きたいと思います。また、視覚的に楽しく学べるようにしたいと思います。</p>									
<p>【授業計画】</p> <p>1) 4月12日(出) 13:30-15:00 導入——授業の概要説明</p> <p>2) 4月26日(出) 13:30-16:40 近代化の二つの道</p> <p>3) 5月10日(出) 13:30-16:40 不平等関係の形成</p> <p>4) 5月24日(出) 13:30-16:40 中国ナショナリズムの展開と日本</p> <p>5) 6月7日(出) 13:30-16:40 日中戦争と新中国の形成</p> <p>6) 6月21日(出) 13:30-16:40 戦後日本と中国</p> <p>7) 7月5日(出) 13:30-16:40 文化大革命と日本、日中国交正常化への道</p> <p>8) 7月19日(出) 13:30-16:40 改革開放後の中国と日本 まとめ 試験(成績評価の必要な人)</p>									
<p>【到達目標】</p> <p>歴史問題に対して自分なりの観点をもてるように、役に立てればと思います。</p>									
<p>【成績評価基準】</p> <p>出席(レポートを含む) 70%</p> <p>試験 30%</p>									
<p>【教科書】</p> <p>特にありません。必要な史料を配布します。</p>									
<p>【参考書】</p> <p>毛利和子『日中関係』(岩波新書)</p> <p>藤井省三『中国見聞—五〇年』(NHK出版, 生活者新書)</p>									
<p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>できるだけ対話を取り入れたいと思います。率直な意見の披露を期待します。</p>									